

曲線施工について

曲線施工の場合、製品同士に隙間をもたせて施工することで対応します。

この時、連結ヒンジ部の凹部と凸部の重なりは、100mm以上重なるように施工してください。内R、外Rそれぞれの場合の最小施工半径は、右記表のとおりです。

設置段数	法長方向 製品距離 (m)	内R 最小施工半径(m)	外R 最小施工半径(m)
5段	3.4	R20	R15
10段	6.9	R45	R40
15段	10.4	R70	R65
20段	13.9	R90	R85
25段	17.4	R115	R110
30段	20.9	R140	R135

施工写真



自然と文化のインターフェイスへ

ランデス株式会社

<https://www.landes.co.jp/>



LANDES

本社 岡山県真庭市開田630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1141(代) FAX 0867-52-3515

中国東支店

本社営業所 岡山県真庭市開田630-1 〒719-3192
TEL 0867-52-1021 FAX 0867-52-2501

岡山営業所 岡山県岡山市北区門前410-1 〒701-1351
TEL 086-287-7777(代) FAX 086-287-6257

山陰営業所 鳥取県倉吉市清谷町2丁目20番地 〒682-0017
TEL 0858-48-1820(代) FAX 0858-48-1821

四国営業所 愛媛県四国中央市金生町下分798-2 K S 会館3F 〒799-0111
TEL 0896-59-1050(代) FAX 0896-59-1052

中国西支店

広島営業所 広島県広島市安佐南区川内5丁目16-12 〒731-0102
TEL 082-830-5571(代) FAX 082-830-5575

東広島営業所 広島県東広島市福富町久芳671-1 〒739-2303
TEL 082-498-5051(代) FAX 082-498-5061

山口営業所 山口県周南市桜木一丁目1-14 〒745-0806
TEL 0834-34-1421(代) FAX 0834-34-1422

関西支店

大阪営業所 大阪府吹田市豊津町8-7 宝ビル4F 〒564-0051
TEL 06-6330-5001(代) FAX 06-6330-5021

関東支店・技術提案営業部

東京営業所 東京都新宿区新宿1-4-13 溝呂木第2ビル5F 〒160-0022
TEL 03-5366-8575(代) FAX 03-5366-8576

仙台営業所 宮城県仙台市青葉区本町1-13-32 オーロラビル511 〒980-0014
TEL 022-796-4418 FAX 022-796-4419

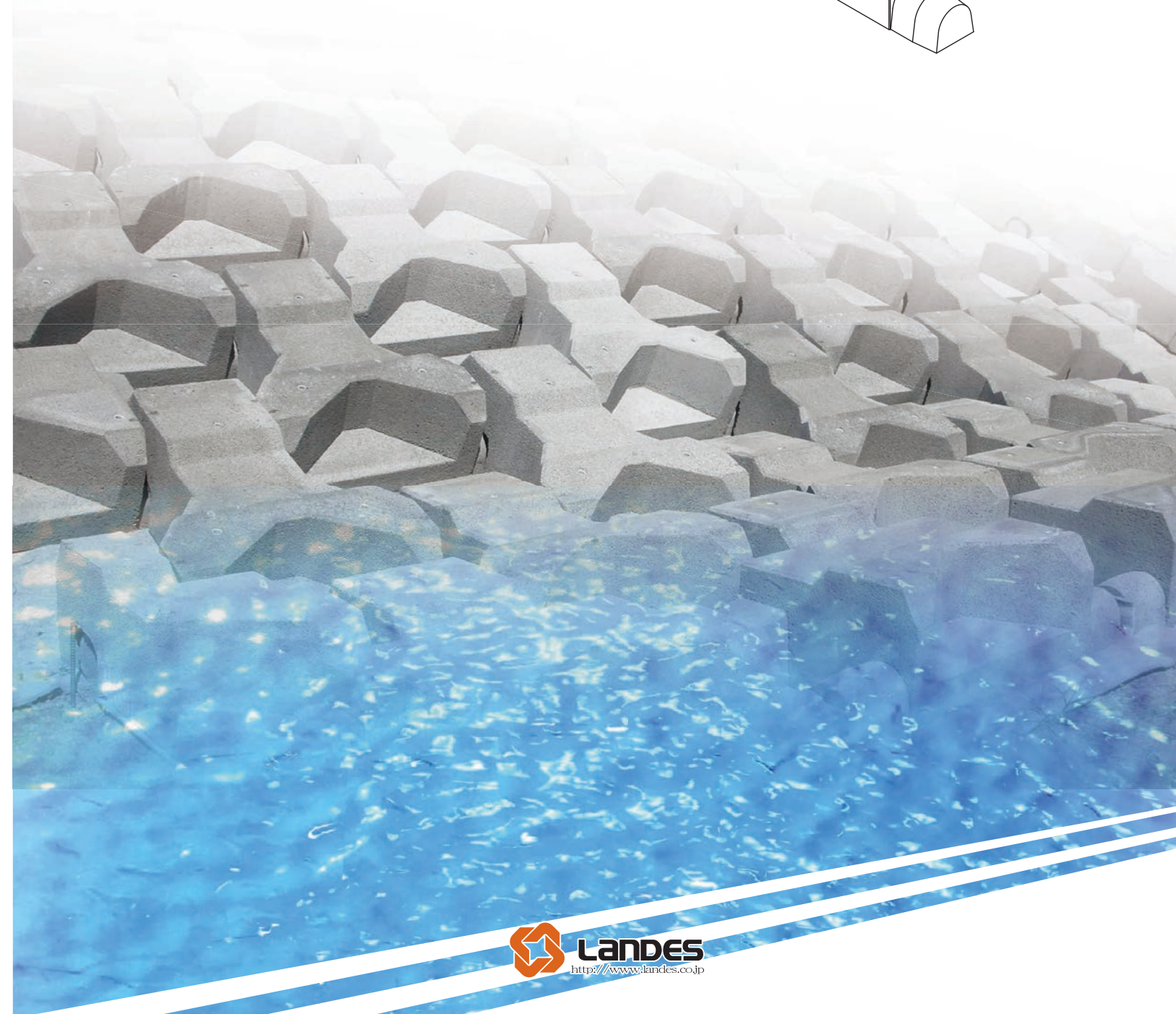
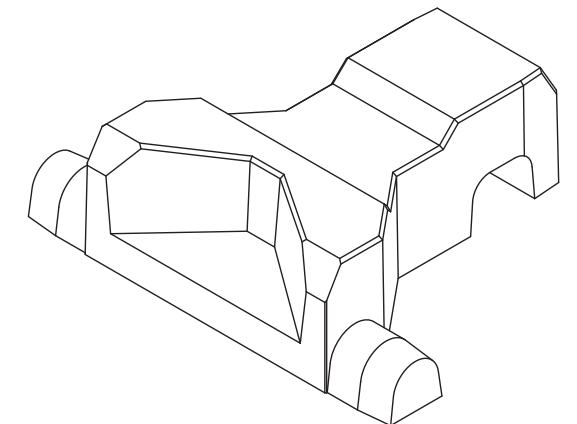
販売代理店

NETIS掲載期間終了技術:CG-110014-A

きずな

CV絆

連結ヒンジ型河川護岸用張りブロック



特長

1 強固でかつ柔軟なかみ合わせ構造

- 製品どうしのかみ合わせによる連結構造です。
- 連結金具を使わないため、耐久性・施工性に優れています。
- ヒンジ部は半円柱形状のため、不陸に対する追随性が良好です。
- ヒンジ部はカーブ施工にも柔軟に対応できる形状です。
- カーブ施工の最小半径は法長の約7倍以上となります。

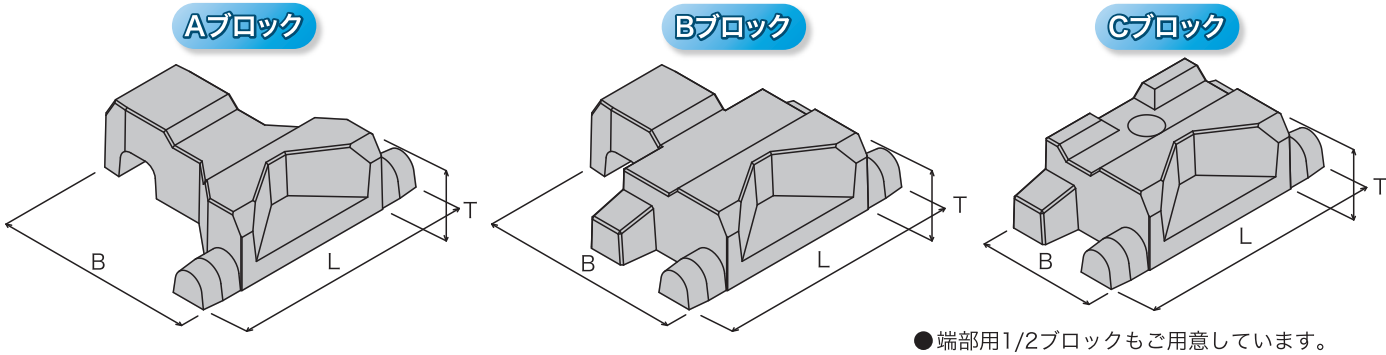
2 従来の張りブロックより工費縮減が可能

- 法肩から施工する場合は、基礎を作る必要がありません。
- 重ねて置くだけの施工なので水中施工にも対応できます。
このため、仮設費の大幅な削減が可能となり全体工費を縮減することができます。
- 従来通り、基礎を作り下から施工することも可能です。

3 周辺環境に調和した構造

- Aブロックをメインに使用することで、約50%の植比率を確保し環境保全型護岸を構築します。空隙部に現地発生土を中詰めすることにより、施工前と変わらぬ生態環境を創ることが可能です。水中部分では、空隙部分が魚類などの隠れ場所にもなり魚巢としての機能も十分です。(植比率:植物が生育することが可能な表面積の割合)
- Bブロックをメインに使用することで、ブロックの表面意匠による護岸を創出します。
この場合、雑草が生えにくく維持管理が容易な護岸を構築します。

製品形状



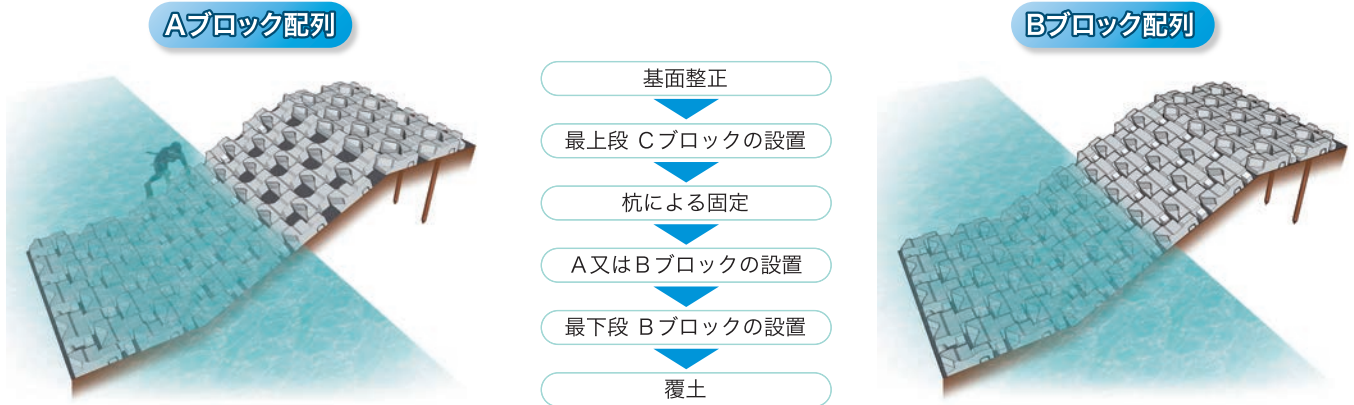
寸法及び数量表

呼び名	種 別	寸法(mm)			参考質量 (kg)	中詰量 ^{※1} (m ³ /個)	m ² 当りの数量	
		L	B	T			使用数(個)	中詰量 ^{※1} (m ³)
350T	Aブロック	1200	1000	350	323	0.116		0.132
	Bブロック	1200	1000	350	426	0.071	1.14	0.081
	Cブロック	1200	600	350	334	0.012		0.014
250T	Aブロック	1200	1000	250	233	0.084		0.096
	Bブロック	1200	1000	250	313	0.048	1.14	0.055
	Cブロック	1200	600	250	254	0.006		0.007

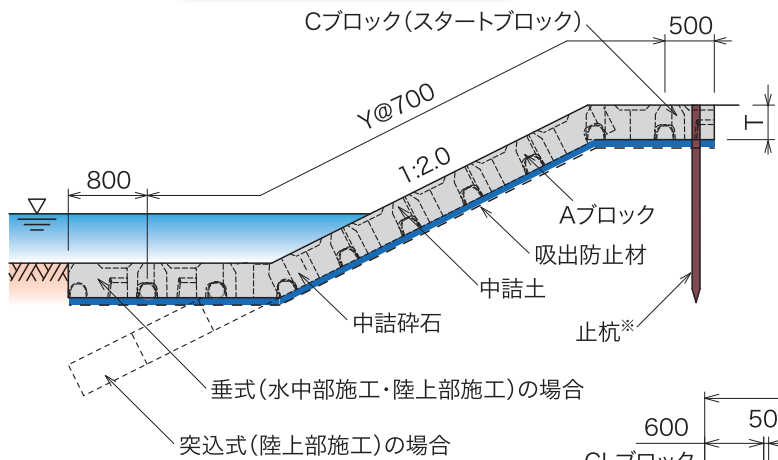
※1:中詰量は、製品天端面の1段下がったところまで投入した場合。

施工方法

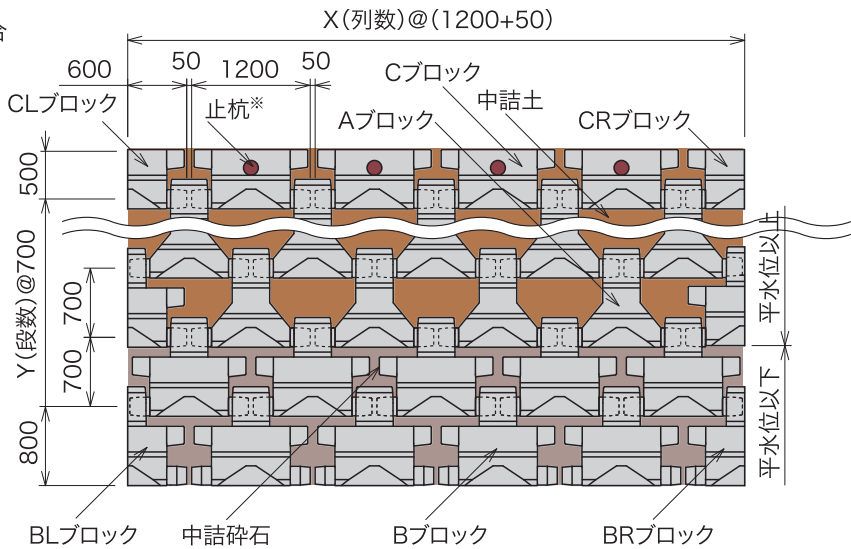
上段から施工の場合(下段から施工することも可能)



参考断面図



参考展開図



※止杭は、施工条件により不用な場合があります。

参考歩掛表

(10㎡当り)

	世話役 (人)	ブロック工 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	潜水士 (人)	潜水送気員 (人)	潜水連絡員 (人)	ラフテレーン クレーン2.5t (台)	緒雑費率 (%)
陸上部の施工	0.1	0.2	0.1	0.2	—	—	—	0.1	—
水中部の施工	0.23	—	0.23	0.46	0.23	0.23	0.23	0.23	0.1

※陸上部の施工歩掛りは平成24年度版国土交通省土木工事精算基準 コンクリートブロック積(張)イー平ブロック150kg / 個以上参照

※水中部の施工歩掛りは平成24年度版国土交通省土木工事精算基準 消波根固めブロックー水中据付 25 t 以下参照

※諸雑費は、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上。